



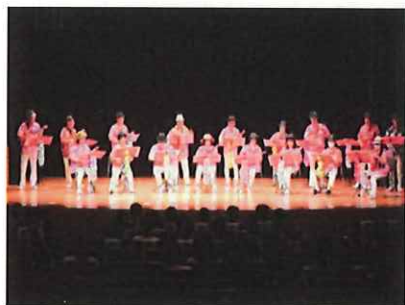
そすいの郷

第348号
2023年(令和5年)
7月20日 編集・発行
西地区コミュニティ運営委員会
広報編集部会

日本では、月見草といえばマツヨイグサなど黄色い花の総称ですが、植物学上では、白～淡いピンクの花を咲かせるツキミソウのことを指すとのこと。(7/10早朝撮影)

三島ホールで地域住民交流会を開催(西コミ運営委員会)

7月9日(日) GUNEI三島ホール(三島公民館併設)にて、第18回地域住民交流会が開催されました。地域住民交流会は、新型コロナの影響もあり、令和元年の「東京タワーと築地場外市場の旅」以来4年振りの開催です。今回は、バス仕立てでの交流会ではなく、三島ホールでシルバー大学OBによるウクレレクラブの演奏や楽しいアフリカンダンス・講演や西小学校児童による成果発表、お楽しみビンゴ大会など新たな企画となりました。開会宣言・金沢会長のあいさつの後、第1演目のウクレレ演奏では定番の曲目から懐かしい曲目まで、数曲の演奏が披露され、最後は「県民の歌」で締めくくりました。



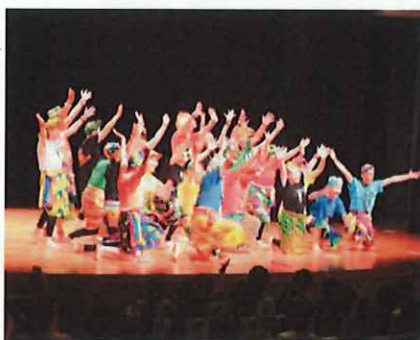
第2演目は西小学校の田代先生から「コミュニティ・スクールについて」の講演と西小6年生によるSDGs(エスディー・ジーズ)についての成果発表でした。第3演目はアフリカンダンス。平均年齢68才の方々のことですが、派手な衣装で元気な踊りを披露しました。最後に子供たちも壇上に上がり、踊りを楽しみました。

第4演目は、お楽しみのビンゴ大会。開始して暫くすると「リーチ」の声がかかりはじめ、その後「ビンゴ」「ビンゴ」……。1等～6等の賞品が出尽くしたところで終了となり、閉会となりました。



コミュニティ・スクール(学校運営協議会制度)⇒学校と保護者・地域の方がともに知恵を出し合い、学校運営に意見を反映させることで、一緒に協働しながら子供たちの豊かな成長を支え「地域とともにある学校」を進める法律に基づいた仕組みで、那須塩原市においても、令和6年度から8年度までの3年間で全27校に導入する予定とのこと。学校も地域との「つながり」が重要とのこと。

SDGs⇒「誰一人残さない」持続可能でよりよい社会の実現を目指す世界共通の目標。2030年を達成期限として定められた「17の目標」と「169のターゲット(具体目標)」で構成されています。17の目標とは「貧困をなくそう・飢餓をゼロに・すべての人に健康と福祉を・ジェンダー平等を実現しよう」などで、西小6年生は17のグループに分かれ、現状や問題点、課題解決の方法などについて、意見発表を行いました。「飢餓をゼロに」の発表では、「食べ物を残さない」「フードバンクやもったいないボックスを活用する」などの解決方法の紹介もありました。



西コミ「子ども夏まつり」

とき
ところ

11時から13時 すべて無料

- ・すいかわり
- ・金魚すくい
- ・水風船すくい
- ・昔あそび
- ・輪投げあそび
- ・ジュースコーナー
- ・こどもビンゴ大会
- ・くじ引き大会

8月6日(日) 11時～13時
西地区コミュニティセンター(西公民館)
駐車場・西公民館・グラウンド

主催：西地区コミュニティ運営委員会
「子ども夏まつり」は、地区内企業の皆様からの賛助金で運営しております。

西地区の行事や出来事、身近な話題などの情報がありましたら、広報編集部会員または西公民館（☎37-1677）までお寄せ下さい。また、西地区で活動していること、趣味のこと、自慢話や思い出話、地域の昔のことなど、「そすいの郷」への投稿も募集しています。（できれば写真も一緒にお願いします。）

投稿

西SC 県大会出場

西小サッカークラブ（西SC）は、6/11（日）に全136チームが参加した県大会「Qualierカップ」に出場しました。当日は小雨の中、朝早くから真岡の鬼怒自然公園グラウンドに移動し、KSC鹿沼との対戦になりました。



西SCは前半に1点を先制することができ、優位に試合を進める事が出来ていました。しかし途中同点に追いつかれてしまい試合時間は終了になりました。

勝敗決定のため、その後PK戦が実施されました。勝敗は4人目で決定となり、3-4で惜しくも敗戦となりました。残念ながら、初戦敗退で大会は終了となりましたが、選手達の成長を見ることが出来た素晴らしい試合内容でした。

これからはより良い結果が出せる様、暑さにも十分注意し活動して行きます。今後も皆さんの応援をよろしくお願いします。（西SC専属審判員 南赤田 樋口泰幸）

西那須野地区コミュニティ親善グラウンドゴルフ大会

6月18日（日）西那須野運動公園において、26回目となる「西那須野地区コミュニティ親善グラウンドゴルフ大会」が開催され、西地区からは「そすいクラブ」を中心に16名が参加しました。各地区上位5名の合計スコアで争う団体戦では、5位の成績でした。（優勝は三島地区でした。）



個人戦では、女子の部で小此木光子さんが9位、男子の部では、高橋勝正さんが10位と健闘しました。

大会では88才以上の出場者に「お元気で賞」が授与され、西コミでは平野孝雄さん（大会最高齢）と中島基貴さんが受賞しました。

なお、お楽しみの「飛び賞」は阿久津弘子さん、室井登美枝さん、生駒 敏さんが受賞しましたが、「飛び賞」は抽選時にその場にいないと無効とのことで、外れてしまった方もおり、残念でした。

投稿

ホタルの観察会（田んぼの学校）

6月23日（金）午後7時30分から、四区町環境保全会（辻野岩男代表）の狩込どじょっこ会「田んぼの学校」が、四区町地内で「ホタルの観察会」を行いました。

計画では、6月25日午前6時からオニヤンマの羽化観察会を予定していましたが、数が少ないために中止して、代わりにホタルの観察会にしたもので、西小学校に参加の呼びかけをお願いしたところ、日数が少ないにも関わらず、保護者の方も含め、多くの方々の参加をいただきました。

観察会の会場は、西小学校から徒歩7分のところ。四区町の南久江さんをはじめ、地域の方々の協力で、毎年ホタルを観察することができるようになりました。



集合場所の西小駐車場で、同校の田代展章先生から、「今年もホタルの観察会に参加することができました。小雨が降っていますが、ホタルをしっかりと観察してください。そして、自然を大切にしましょう」とのあいさつがあり、環境保全会指導員の小藤榮さんからは、「大声を出さない、ゴミなどの忘れ物をしない、防虫スプレーは使わない、水路に落ちないように注意してください」などのお願いがあり、早速、徒歩で会場へ。小雨が降っていましたが、会場ではホタル（ゲンジボタル）が飛び交い「去年も参加したけどとってもきれい、楽しい。まるで宇宙みたい」と笑顔で話す子も。（山崎 智雄）